

鈴木良三 Ryozo SUZUKI

<主な掲額理由> 東京、メキシコオリンピックにかけての日本サッカーの飛躍期にディフェンダーとして活躍

●1939年9月20日、埼玉県生まれ

東京オリンピックからメキシコオリンピックにかけての日本サッカーの飛躍期に日本の守備を支えたディフェンダー。

埼玉県立浦和西高校でサッカーを始め、1956年度第35回全国高校選手権大会優勝。立教大学では1959年度関東大学リーグ優勝(全勝優勝)、東西学生王座決定戦初優勝、また、1962年入社の日立製作所では、1963年度天皇杯全日本選手権準優勝、全国都市対抗選手権優勝に貢献。

立教大学在学中に日本代表候補に選出され1961年8月対インドネシア戦で日本代表デビュー。東京オリンピックでは全試合に出場し、チームのベスト8進出に貢献、バネのきいたヘディングと外国人選手にも負けないフィジカルの強さを生かして相手のエースを厳しくマークするストッパーの仕事の黙々とこなした。1966年アジア競技大会(バンコク)では3位。1967年6月、東京・駒沢競技場で行われたブラジルの一流プロクラブ、パルメイラスとの試合では、危険極まりないFWダリオをマーク、激しい当たりで防ぎきってプロチームに対する日本代表の初勝利を支えた。1968年メキシコオリンピック日本代表に選出され、同年代表を退いた。日本代表として98試合出場。

JSL(日立)では、1965年にJSL選抜(当時のベストイレブン)に選出され、1970年まで通算67試合出場、5得点を記録。



1967年 日本代表対パルメイラス戦



1963年 日本代表対西ドイツジュニア代表
(日本代表ヨーロッパ遠征)



1961年 西ドイツスポーツシュレーにて